

令和8年度9月補正予算 主要事業

1 子育て・教育・医療・福祉の推進

単位：千円

事業名	金額	説明
(新規) 児童虐待防止・こどもの権利擁護体制強化	10,513	○令和8年12月のこども性暴力防止法の施行に向け、こどもの安全確保及び権利擁護を図るための環境整備を実施。 ・児童相談所相談室等への見守りカメラ設置 10,513千円
児童福祉課		
(新規) 入院中のこどもの家族の付添い等に関する環境改善	4,136	○こどもや家族が安心して入院生活を送ることができるよう、付添い家族の環境改善を推進する病院に対して、物品購入（簡易ベッド等）に必要な経費を補助。（国1/2、県1/2） ・群馬大学医学部附属病院 680千円 ・前橋赤十字病院 51千円 ・小児医療センター 2,635千円 ・利根中央病院 270千円 ・太田記念病院 500千円
児童福祉課		
(新規) 医師偏在是正対策 （医師の勤務環境改善等施設整備）	44,640	○若手医師確保と医師偏在是正のため、県内の医師少数区域等の臨床研修病院が実施する、医師の勤務環境改善のための施設整備を支援。 ・補助対象経費：病院内の医局、更衣室等の新築、増築、改築及び改修 ・補助額：（上限）44,640千円×1/2×2病院＝44,640千円 ・補助率：国1/3、県1/6、事業者1/2
医務課		
軽費老人ホーム利用料補助	47,832	○軽費老人ホームにおける職員の人材流出防止や職場定着を図るため、施設に対して職員の人件費の一部を支援するとともに、生産性向上や処遇改善等に取り組む施設を支援。 【R7.12～R8.5分】 ・軽費老人ホーム職員1人当たり 月10千円/人 ・生産性向上等の取組を実施している場合 月5千円/人 ・職場環境改善にかかる取組を実施している場合 月4千円/人 【R8.6～R9.3分】 ・軽費老人ホーム職員1人当たり 月10千円/人 ・生産性向上等の取組を実施している場合 月7千円/人 ・定期昇給分に相当する措置を実施している場合 月2千円/人
介護高齢課		
(新規) 介護支援専門員安全確保対策	37,826	○令和8年6月に発生した介護支援専門員死亡事件を踏まえ、介護支援専門員の安全確保を図るため、利用者宅訪問時の同行支援体制を整備。 ・同行者派遣業務委託 37,826千円 県介護支援専門員協会に委託し、居宅介護支援事業所からの要請に応じて単独訪問が適切ではない利用者宅への訪問に同行者を派遣。
介護高齢課		

事業名	金額	説明
介護事業所等に対するサービス継続支援	263,888	○介護事業所等において、介護サービスの継続に必要な経費を補助。 ※事業所からの申請額が当初国配分額を上回ったことから、国庫補助の追加配分に対応して増額。 ・訪問・通所：200千円/1事業所（規模、提供形態に応じて上限額設定） ・施設系：6千円/人 ・対象経費：燃料費、光熱水費、サーキュレーター、ポータブル発電機、衛生用品等 ※R7.12月補正予算額467,000千円 → 執行見込額730,888千円（+263,888千円）
介護高齢課		
障害分野の職員賃上げ・職場環境改善	220,192	○障害分野における職員の賃上げ等に必要な経費に対して補助。 ※事業所からの申請額が当初国配分額を上回ったことから、国庫補助の追加配分に対応して増額。 ・障害福祉従事者に対する幅広い賃上げ支援 月10千円相当/人 ・障害福祉職員の職場環境改善への支援 月4千円相当/人 ※R7.12月補正予算額905,060千円 → 執行見込額1,125,252千円（+220,192千円）
障害政策課		
（一部新規） 高次脳機能障害対策	3,663	○高次脳機能障害者支援法の施行を受け、患者や家族に対する支援体制を強化。 ・高次脳機能障害者支援センターの設置 3,344千円 前橋赤十字病院に設置している支援相談窓口の機能を強化し、患者や家族に対する専門的な相談支援を行うほか、医療、福祉、労働、教育等の関係者を対象とした研修を実施。 ・（新規）高次脳機能障害者支援地域協議会の設置 319千円 医療、福祉、労働、教育等の関係機関や民間団体等からなる協議会を設置。
障害政策課		
高等学校等教育改革促進 （基金事業）	306,692	○国が示す高等学校等教育改革のパイロット事業として、県内に4つの先導的な拠点を創出する取組を進める。 ・施設整備実施設計委託 303,000千円 各拠点の中心となる4校の施設整備に係る実施設計 ・支援体制整備 3,692千円 事業推進に向けた職員研修講師謝金、先進事例研究のための先進校等視察旅費など
（教）管理課 （教）高校教育課		
高等学校等教育改革促進基金積立	6,102,000	○高校教育改革を先導するパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及するために設置した「高等学校等教育改革促進基金」に、採択済み及び審査中の国庫相当額を積立て（国10/10）。 ※すでに予算計上済みの施設整備に係る基本設計相当額を除く
（教）管理課		

2 県民幸福度の向上

単位：千円

事業名	金額	説明
(新規) 地域交通空白解消プロジェクト	29,690	○利根沼田圏域における「交通空白」の解消に向け、市町村や事業者（医療・福祉・商業・教育）等が提供する地域の交通資源を活用した広域的な移動支援体制構築に係る調査検討を実施。 - 交通空白を可視化するための現況調査 20,400千円 - 既存の交通資源を活用した交通空白対策の検討（広域連携協議会の設立） 2,758千円 - 関係者へのヒアリング調査費 6,532千円
交通イノベーション推進課		
(新規) 地域公共交通計画改定	15,653	○令和9年度末に現行の地域公共交通計画が終期を迎えることから、次期計画策定に向けた調査分析や法定協議会における改定作業を実施。 策定期間：R8～R9（次期計画期間：R10～R14） 事業内容：人口動向や交通ネットワーク等の調査分析 法定協議会・地域部会の開催 など
交通イノベーション推進課		
(新規) 税務組織のリニューアル	120,853	○令和9年度組織改正において、課税・徴収業務の集約を含む税務組織のリニューアルを実施するにあたり、備品の購入等や県税ネットワークの整備、システム改修等を実施。 また、県民サービスを維持するため、新たに各事務所に窓口支援システムを導入。 ①備品購入 20,000千円 ②文書庫整備 3,333千円 ③県税ネットワーク整備 17,461千円 ④文書等移動・不用品廃棄 7,137千円 ⑤電話交換機改修・住基増設 1,440千円 ⑥県税システム改修 57,860千円 ⑦窓口支援システム導入 13,622千円 課税・徴収を担う4事務所と窓口業務を担う7事務所とをオンラインでつなぐ相談体制を構築
税務課		
防災ヘリ修繕等	48,000	○災害時や救急要請時に防災ヘリが迅速に出動できる体制を確保するため、調達に時間を要する予備部品の修理や購入等を行う。 また、物価高騰の影響等を踏まえ、予備修繕費を増額。 ①予備部品調達 32,152千円 ・BLEED VALVE（ブリードバルブ）（オーバーホール） ・GCU（ジェネレーターコントロールユニット）（新品購入） ・STARTER-GENERATOR（スタータージェネレーター）（修理） ②予備修繕費 15,848千円
消防保安課		

事業名	金額	説明
(新規) 外国人との秩序ある共生社会の実現に向けた調査研究	25,000	○将来の外国人の受入れのあり方や適正な受入れ規模について、社会経済情勢の変化を踏まえた調査研究を行い、県の政策立案に活用するとともに、国への提言を行う。
ぐんま暮らし・外国人活躍推進課		・調査研究委託 25,000千円
(新規) ぐんま・ONSEN Culture 世界発信	20,000	○温泉文化の魅力や価値を世界に向けて発信するため、外国人観光客をメインターゲットとしたパッケージツアーを造成するとともに、動画を制作して広くプロモーション活動を実施。
文化振興課		・ファムトリップ企画・パッケージツアー造成 12,000千円 ・プロモーション動画制作 8,000千円
(新規) 群馬県ライフル射撃場整備	124,587	○「湯けむり国スポぐんま2029」のライフル射撃競技会開催に向け、競技施設基準への対応及び老朽化対策として、群馬県ライフル射撃場の施設整備を実施。
スポーツ振興課 施設調整課		・10m射場改修工事・電気設備工事等 65,240千円 ・屋根防水工事・塗装工事等 40,737千円 ・受水槽改修工事 18,610千円
(新規) 館林市内の廃棄物等不適正処理事案に係る行政代執行	964,099	○館林市内において不適正に保管されている大量の廃棄物等について、行為者が措置命令に応じない場合、行政代執行により当該廃棄物等の全量撤去工事を実施。
廃棄物・リサイクル課		・汚染状況確認調査費 22,000千円 ・廃棄物等全量撤去工事費 942,099千円 ※（公財）産業廃棄物処理事業振興財団の「原状回復事業支援金」を活用。
農業金融利子補給（農業近代化資金利子補給、総合農政利子負担軽減対策）	3,511 債務負担行為 〔606,881〕	○国の制度改正を踏まえ、農業近代化資金の貸付限度額の引上げ及び償還期限の延長を行うとともに、必要となる融資枠、予算額及び債務負担行為限度額を増額。 ①農業近代化資金利子補給金 〈制度改正内容〉 貸付限度額：個人1,800万円 → 2億円 法人 2億円 → 7億円 償還期限：15年以内 → 20年以内 (融資枠) R8当初 30.5億円 → R8.9月補正後 50.5億円（+20億円） (予算額) R8当初 127,685千円 → R8.9月補正後 130,029千円 (+2,344千円) (債務負担行為限度額)〔債務負担行為期間：R9～R29〕 R8当初 279,629千円 → R8.9月補正後 867,090千円 (+587,461千円) ②総合農政利子負担軽減対策 (融資枠) R8当初 23.0億円 → R8.9月補正後 26.5億円（+3.5億円） (予算額) R8当初 18,555千円 → R8.9月補正後 19,722千円 (+1,167千円) (債務負担行為限度額)〔債務負担行為期間：R9～R14〕 R8当初 51,555千円 → R8.9月補正後 70,975千円 (+19,420千円)
農業構造政策課		

事業名	金額	説明
蚕糸技術センター施設整備	29,121	○原蚕種飼育蚕室及び人工飼料育研究棟の新設に向け、既存建物の解体工事費の予算が不足するため予算を増額するとともに、排水設備更新に必要な土壤汚染調査を実施するための予算を計上。 ①解体工事費 +11,686千円 [解体工事費 45,460千円 → 57,146千円] ・調査の結果、アスベストや土壤汚染物質が含有していたことによる対策費用を増額 ・物価高騰による費用の増額 ②土壤汚染調査費 +17,435千円 R9年度に更新予定の排水設備について、土壤汚染調査の実施範囲が確定したため、調査費用を予算計上。
蚕糸特産課		
(新規) 県内企業 生成AI導入・活用支援	3,000	○県内企業の生成AI活用を促進するため、産業技術センターに生成AIを活用できる環境を整備し、企業への助言や活用方法の実証支援を実施。 ・生成AIセミナー開催 1,000千円 ・クラウド型生成AI使用料 1,000千円 ・ローカル型生成AIサーバー整備 1,000千円
地域企業支援課		
単独公共事業	273,500	○気候変動に伴う豪雨などの災害等から県民の生命・財産を守るため、緊急的な安全・防災対策として、道路冠水対策、道路伐木、河川伐木・堆積土砂撤去、通学路の除草を追加で実施。 また、「湯けむり国スポ・全スポぐんま2029」開催を見据え、視認性が低下した道路案内標識の更新を計画的に実施。 ・道路排水機能強化のための道路側溝の改修等 50,000千円 ・豪雨、強風時の倒木リスクを軽減するための道路伐木 40,000千円 ・水害リスクを軽減するための河川伐木・堆積土砂撤去 53,500千円 ・通学児童の安全確保のための通学路の除草 80,000千円 ・視認性が低下した道路案内標識の更新 50,000千円
道路管理課・河川課		
補助公共事業	1,033,558	○県土整備プランの政策を着実に推進するため、公共事業費を増額。 ・国庫事業の内定に伴う増額 713,158千円 ・7月豪雨で土石流が発生した桐生市内において、再度災害を防止するため、緊急的に砂防堰堤を設置 320,400千円
県土整備部		
(新規) 電子入札共同システム	債務負担行為 [1,436,905]	○入札業務を効率化する電子入札共同システムの更新にあたり、AI需要増大によるサーバー機器の納入遅延に対応するため、調達手続きを令和8年度に前倒して実施するとともに、現行システムの運用保守を1年延長する債務負担行為を設定。 ・次期システム構築・運用保守 (R9～R15) 1,222,323千円 ・現行システム運用保守延長 (R9～R10) 214,582千円
建設企画課		
交通安全施設整備 (道路標示)	126,500	○安全・安心な交通環境を確保するため、摩耗した黄色センターラインについて、緊急的に塗り替えが必要な区間の予算を増額。 ・黄色センターライン等に係る予算額 R8当初 66,330千円 (約 52km) →補正後 192,830千円 (約152km)
交通規制課		

事業名	金額	説明
(新規) 企業局オフィスリノベーション	54,010	○企業局職員の働きやすい職場環境を整備し、将来を担う技術職員の人材確保につなげるため、県庁舎27階南フロアのオフィスリノベーションを実施。
(企) 経営戦略課		
白沢発電所リニューアル	262,000	○令和4～9年度の事業期間でリニューアル工事を進めていたところ、既存設備の劣化等が確認されたため、追加工事を実施。 ・水圧鉄管更新 79,000千円 ・放水路改修 120,000千円 ・取水口除塵機等更新 37,000千円 ・支障工作物撤去 26,000千円
(企) 発電課		

3 猛暑対策

単位：千円

事業名	金額	説明
文化施設維持整備 (文化施設の暑熱対策)	23,904	○県立文化施設の来館者等の安全確保や収蔵品等の適切な保存環境を維持するため、空調設備等の修繕・更新を実施。 ・館林美術館 13,972千円 ・歴史博物館 5,720千円 ・自然史博物館 4,212千円
文化振興課		
(新規) 女性相談支援センター猛暑対策	2,695	○保護中の女性及び同伴児童が利用する居室等の老朽化した空調設備を更新。 ・エアコン更新 11台
生活こども課		
(新規) 中央児童相談所猛暑対策	7,205	○中央児童相談所一時保護所の居室やプレイルーム等の老朽化した空調設備を更新。 ・エアコン更新 32台
児童福祉課		
東部児童相談所一時保護所 体育館空調整備	21,000	○空調設置工事について、設計後の工事費が現計予算額を上回ったことなどを踏まえ、トータルコストの縮減を図るため、当初想定していた電気方式からガス方式に変更した上で、不足する工事費を増額。 ・現計予算 27,000千円（電気方式） →補正後 48,000千円（ガス方式）
児童福祉課		
(新規) 赤城ふれあいの森あかぎ木の家空調設備設置	5,441	○県立森林公園赤城ふれあいの森内の「あかぎ木の家」において、来園者の熱中症対策を図るとともに、真夏でも木工工作を快適に楽しめる環境を整備するため、空調設備を導入する。 ・エアコン及びスポットクーラー購入設置費 3,441千円 ・電気配線工事費 2,000千円
林政課		
普通教室老朽化空調更新	320,000	○令和9年度以降に予定していた県立学校普通教室空調設備更新の一部を前倒して実施。 ・工事箇所 県立高校8校（令和9年夏までに更新）
(教) 管理課		

4 財政の健全性の確保

単位：千円

事業名	金額	説明
財政調整基金積立	3,379,145	○令和7年度決算剰余金（6,758,288千円）の1/2を財政調整基金に積み立て。 （9月補正後残高 470億円）
財政課		